

ZOOM UP



新国俊彦

日本大学歯学部長



日本大学歯学部、大正11年東洋歯科医学専門学校が、日本大学に合併され現在に至る。在学生1260名(大学院生を含む)

「私も週1度、「歯学概論」を2年生に教えているんですが、私の講義は慢談です。真面目で誠実な歯科医になれ、と話してみても、学生はそんなことは云われなくてもわかってる、というような顔をしています。確かに誰れも真面目に一生懸命努力することは大切だし、それが良いことぐらいは知っている筈です。それを真正面から話してみても、あまり効果はないと思います」

話しが型破りである。が現代の若者の心を適確に掴んでおられる。

「しかし、必ず私は出席をとります。学生の本分は、まず学校に来ることにあるからです。自分の置かれている立場を知ること、学問も技術も、もちろん必要だが、その前に1個の人間として己れについて知ることが大切」と仰有る。「頭脳の明晰さよりも、良識のある巾広い心をもった人間をつくり、患者を幸にすることのできる歯科医にすることが何より大事なこと、それが医学指導に携わる人の使命だ」といわれる。

◇ ◇

今年10月15日より開催される「日本歯科医学会総会」の副会頭として、故 関根永滋先生の志を成功させるべく、多忙な毎日と聞く。

「今回の歯科医学会総会は、日本歯科医師会の全会員を対称に、会費も無料で出席すればすぐに役立つ臨床の実際を主体に開催します。又、広い視野で社会を

見つめる歯科医に、という意向で、講演者も永井道雄元文部大臣や評論家藤原弘達氏、池田弥三郎氏等に依頼し、中味の充実した会としました。基調テーマである「歯学の進歩を人類の福祉へ」をモットーに、全員が参加する会としたい、と願っております」

お生れは、東京・麻布。本籍は山形県。「山形で育ったことはないのですが、近頃日本大学の山形県人会々長にさせられてましてね。今では郷里が懐しく年に2~3回は帰郷して、地酒を飲んだりして楽しむことができます。趣味は旅行で、特に人と人との心のふれ合い、暖かい人情に接することが好きです。また車窓から夜でも外を見ているのが大好きなんですよ」

ロマンチストで人情家の面をチラリと…
近年マスコミで騒がれている歯科医療について…

「保険制度のあり方がまちがっていると。特に技術的な評価が欠けている。例えば、1年しか経験のない人と、

何十年もこの道一筋に努力、勉強した人との診療報酬が同じとは…。抜歯料金にしても技術が未熟な為、時間がかかった人の方が、すんなり早く抜く人より高額を請求できるなんて話がありますか。

又、この制度では学校で勉強した通りの治療をしていたら、医院経営が成り立たない、という話も聞きます。これでは莫大な費用をかけて教育した精華が、国民の中で生きていないということになります。1日も早く、適正な保険制度にと願わずにはいられません。政府も、歯科医療界も原点にもどって、真剣にこの問題と取り組まねばならない、と痛感しております」

ご本人は「テレ屋で人前でもっともらしいことを話すのは苦手ですてね」といわれるが、話しが核心にくとズバリと問題点を指摘なさる。

オール日大水泳部長を長年なさっておられるという。若者と共に考え、悩み、行動なさるバイタリティーが、学生間で人気を呼ぶのだろう。ザックバランで、スマートで、魅力あふれる新国歯学部長 歯科界の良きリーダーのお一人である。

〈略歴〉

昭和8年日本大学専門部歯科卒業。昭和10年助手となり口腔外科学を専攻。その後講師、助教授を経て、昭和25年教授。昭和28年口腔外科学主任教授。昭和30年歯科病院長。45年歯学部長。46年日本大学理事、現在にいたる。その間、昭和16年陸軍々医学校口腔外科嘱託、昭和21年日本大学専門部医学科卒業。昭和24年京都大学より医学博士の学位。昭和26-28年警察予備隊衛生課勤務。66才50年第10期日本学術会議会員。

診療室拝見

山王歯科クリニック

院長：小林 美鶴 東京都大田区山王2-5-13大森北口ビル6階



国鉄大森駅の山王口を出ると線路に沿って商店街が続く。この辺りは丘陵地帯になっていて、およそ六千年前はこの台地直下に海岸線が走っていたといわれている。近くには縄文式土器とともに有名な大森貝塚が原始の生活を今に伝えている。

山王歯科クリニックはこの高台の商店街の中心に建つ真新しい第一勧業銀行ビルの6Fにある。

待合室は、一流ホテルのロビーを小さくした感じ、その豪華さに驚ろかされる。カラシ色のソファ、壁面は金赤、床は濃いグリーンと、かなり思いきった色を使われているが、外光を断ち、白熱灯で全体の色調を押えているためか、ケバケバしさは全く感じられない。待合室から診療室に入る真ん中にビル特有の大きな柱がある。がこの柱が待合室と診療室を分け、邪魔になる筈の柱をも医院設計の中にみごとに組み入れてある。この医院の特長は、受付をはじめ、レントゲン室、洗口コーナー、ユニットの仕切りなどすべてにアールをとり、ともすれば冷たい雰囲気になりがちな医院を、柔らかな感じに仕上げていることである。

診療コーナーは、セミセバレート方式



で、L字型の一方が傾斜していて、通路から、内部の様子が見えるようになっている。又、コーナーに入れば一切の治療が座ったまゝで出来るように、キャビネット内部に研磨調整用の〈ビーバーラボ〉を組み込み、主に使用するコーナーには、カウンセリング机も取り付けてある。設計時から、並々ならぬ神経を使わなくては、このように行き届いた歯科医院は出来上らない。みごとな心くばりである。

院長の小林美鶴先生は、昭和33年に日本歯科大学を卒業。港区赤坂の兼松考治先生のところに弟子入り、その後南品川で開業、その間歯科博士の学位を受領。近年体調をくずし2年程静養。昨年3月、自宅から5分の近さにあるこのビルに開

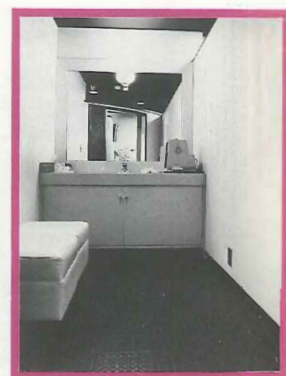
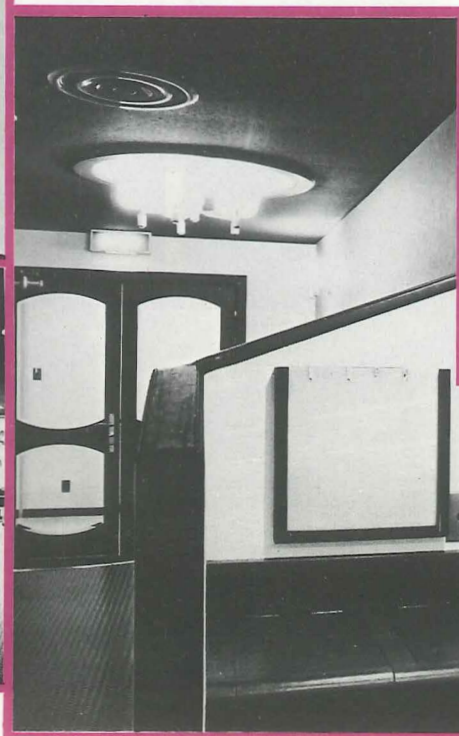
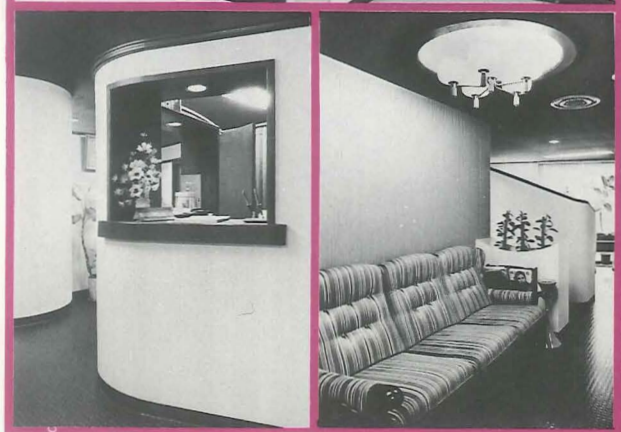
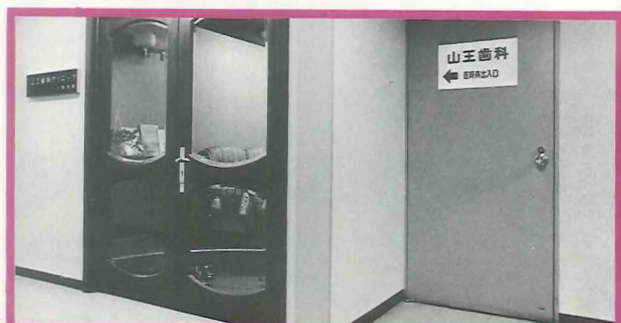
業。奥様の登志子さんは大学時代のクラスメート、やはり歯学博士で、現在もお二人で診療にあたられている。

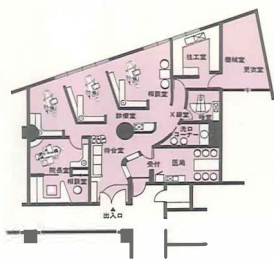
まず診療室設計のご苦心談からお伺いする—

Q：素晴らしい診療室ですが、設計はどなたが専門家に？

A：歯科の専門家というわけではありませんが、私が従来から考えていた診療室のあり方と設計者の考えがほとんど一致しておりましたので助かりました。ビル開業の場合、問題になるのはコンプレッサーやセントラルバキュームの騒音ですが、幸いこのビルの空調室を借りることができましたので、天井をアスベスト張りに、床も吸音マット、壁面も防音壁とし完全に音をシャット、3馬力の動力を入れてあるのですが、全く外部に響きません。

診療室は、個室の感じを作り乍ら、床面が配管で上がるので、間仕切りをセミセバレートにし、息づまる感じをなくしました。アールをとり乍ら、傾斜させていく仕切りが難しく、大工さんと家具屋さんとの共作で出来上りました。全体のディレクター的な役目は、20年来の友人である上原歯科産業の社長さんに。ユニッ





ト部は、オサダEQルームの山口所長さんに…それぞれ、専門家の立場で意見をのべてもらい作りあげましたので、出来上がった上での不満は全くありませんでした。

Q：働らいている方達の教育が非常に良くゆき届いておりますが、何か特別な教育を…？

A：現在4人の女性がありますが、私は歯科＝衛生士という雇用関係にはこだわられません。薬剤師、看護婦、健康管理士など体の一部として口腔状態を管理できる人は歯科でも良い仕事をしてくれます。彼女達は基礎学問をみっちり勉強しておりますし、病人の扱いや薬の身体における影響など、広い範囲で患者と接してくれますので、患者さんも歯の治療以外のプラスアルファを得られるようです。評判はいいですね。もちろん、同じ職場で働くのですから、チームワーク第一であることは、言うまでもありませんが…。

Q：日々の診療で気を使っておられるこ

とは？

A：近年、歯科診療についてとかくの噂がありますが、私は歯科界のPR不足も一因だと思います。歯科医が本当に良いことだ、と思うことも患者が理解していなければ不満が残ります。近代歯科治療の内容を理解してもらおうと共に、歯科医療という職業に従事する人間として、いろいろなサービスをすること。先の健康管理についての指導や予防についての知識を与えるなど…歯科医に限らずすべての職業人は、その職業を通じてのサービスがある筈です。我々も良い意味での、積極的なコマーシャルが必要なのではないでしょうか。

記事内容はともかく、近年マスコミでいろいろ歯科について取り上げられたので、最近では、患者さんの口腔衛生思想が高まり、治療だけでなく、歯を守ることに努力される人が多くなって来ました。いさゝかの救いのように思えます。この機を逃さず、我々も専門家として積極的に共に行動を起すことが大切だと思います。

Q：〈スマイリー〉と〈ユニオート〉をご使用いただいておりますが、使用感は？

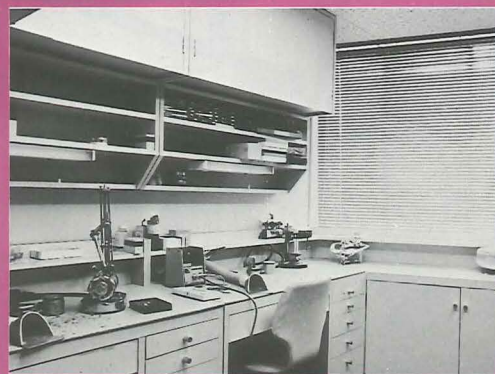
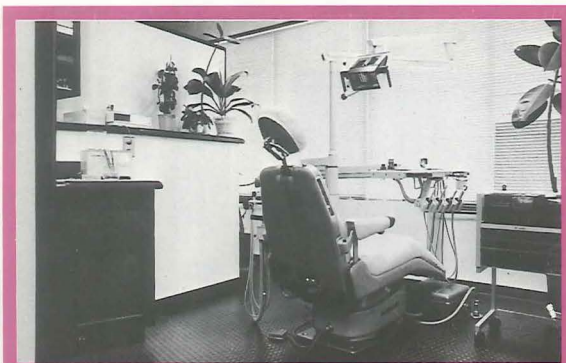
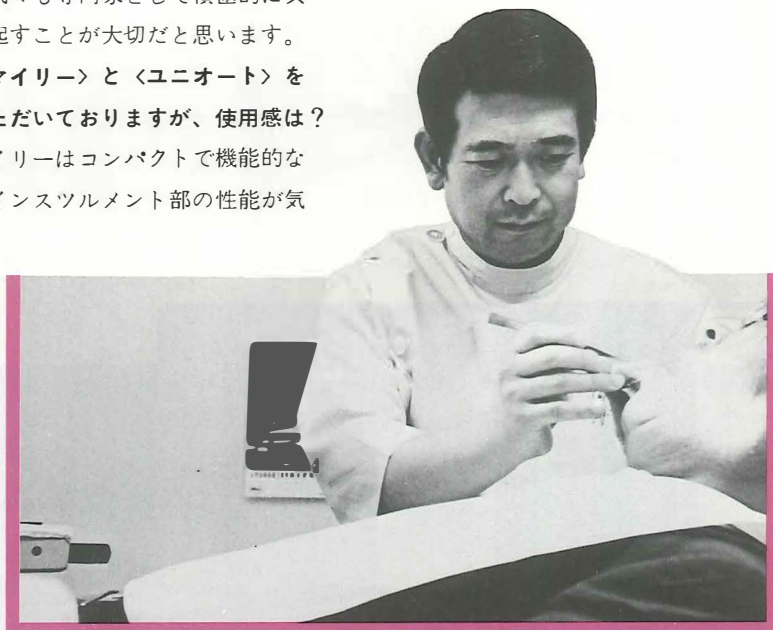
A：スマイリーはコンパクトで機能的なところとインスツルメント部の性能が気

に入って購入しましたが、予想通り活躍してくれています。それと使用後気がついたのですが、オールエアータービンとミニトロンを使い分けると機能は倍化されますね。長持ちもずっとするようです。ユニオートは長時間の治療に抜群の力を発揮します。思わぬ利点は、最低位が低いためかお年寄り、特におばあちゃんの患者に受けが非常にいいですね。

◇ ◇

開業以来およそ20年。「途中体をちょっと悪くしたことが、私自身にも患者の身になって考えられる良い期間となりました。此の度の開業もデンティストとして一区切りをつけると共に、仕事をエンジョイ出来る環境が欲しかったのです。自己の健康管理を考えつつ、一歯科医として、自身を充分表現したい。それがこの診療室です—40代とはそんな年令かも知れませんがね」

学問も臨床も一働き盛りの43才である。



東山小児歯科クリニック

院長：長縄 弘康 名古屋市千種区東山通5-89



中京工業地帯の心臓部名古屋は、およそ四地域に分かれている。中心部が商業、東と西が住宅地、北と南が工業地帯、そして工業地帯と他地帯のあいだの準工業地帯である。この東の住宅地帯には日本でも有数の千種の大アパート群とともに戦前から知られている東洋一の東山総合公園がある。

この広大な公園に囲まれたような、静かな住宅街の一角に建つ東山小児歯科クリニック。

入口の階段を5〜6段上ると左側に手洗所、さらに2〜3段上って玄関口、というめずらしい建物。建築士であったお父様が各種の歯科医院を参考にして設計した、というだけあって、各部はムダを排し、合理的につくられている。一階はおよそ90㎡、待合室はカラシ色のじゅうたん、オレンジに白の模様の壁紙。児童心理を心得た明るい配色である。診療室は薄いグリーンの亀甲模様の床に、赤や青の自動車の壁紙がたのしい。窓側に向けて小児用ユニットが3台。オサダが長繩先生の考えに沿って作り上げた、小児歯科専用ユニットである。将来予防歯科コ

ーナーを作られる計画と、あと2台入れることが出来るように5台分のスペースを取ったといわれるゆったりとした診療室。

院長の長繩先生は今年35才。愛知学院大学の第一回生。学卒後、母校の小児歯科学教室で講師兼医局長を経験、今年6月、自宅でもありご両親の住むこ、東山に開院された。

学生時代は登山をされたというだけあって、ガッシリとした体格であるが、笑った顔がなんともやさしい、童顔である。子供達にとってはこの印象が、頼れるお兄さんとして映るのだろう。治療中泣く子は少ないと仰有る。

Q：小児歯科専門ということですが、子供を治療する場合の注意というか…秘訣を。

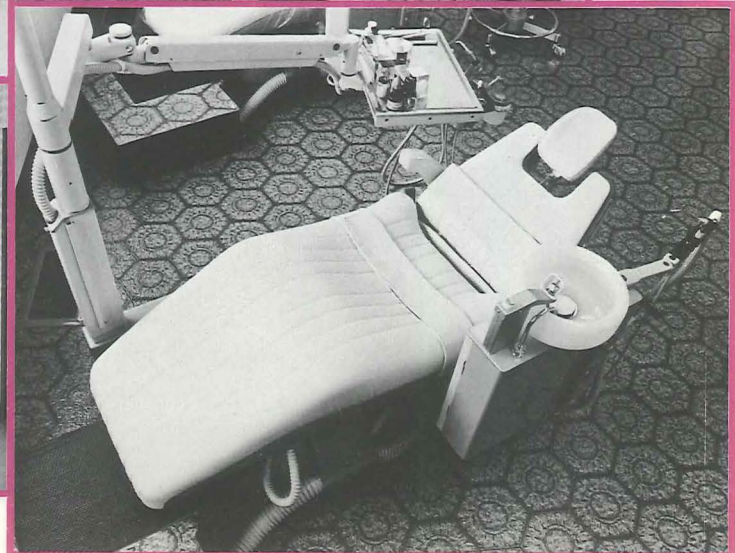
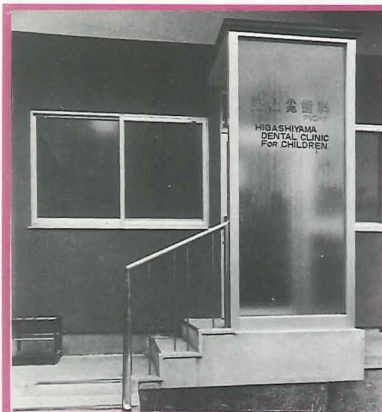
A：そうですねー。まず、決して子供にウソをついたり、ダマしたりしてはいけませんね。必ず子供は見破りますし、1度そうなると、後でこちらが何を言っても信用しません。それと、1人前に扱うことですね。納得するまで時間をかけることが必要です。

Q：そうしますと、時間通りに治療をする、ということは難しいでしょう。

A：え、確かに時間がないと無理ですね。初め2〜3回は恐怖心をなくすためにいろいろ話しをし、そのまゝ帰すこともありますね。慣れてしまえばまず大丈夫ですし、3才位になれば、なぜ歯の治



療が必要なのか、本人が理解しますヨ。こちらにもプロ根性がありますから、何もしないでそのまゝ帰すことは、少しでも止めようと思いますからね。でも体力は消耗します。治療が終わるとグッタリしちゃいますヨ。





Q：でも子供が好きでないとなかなか出来ない仕事ですね。

A：子供は昔から好きですね。インターン時代など、治療に母親と来た子供達を幼稚園みたいに一ヶ所に集め遊んだりしましたから…。体力も必要だし、大変だナーと思う時もありますが…。でも子供はたのしいですよ。

Q：効率的なものからいゝますと、余り良くないんじゃないか、と思いますが…。

A：私は昔から子供だけですので、大人の治療と比較はできません。治療とはこういうものか、と思っておりますから…。たゞ友達なんかには云われますね。大変だナーよくやってるナーってね。確かに1日何十人も治療している方は無理でしょうし、非効率だ、と思われるかも知れませんが…。その人の生き方、考え方によるんじゃないかと思えますよ。

Q：スタッフは。

A：私と衛生士、助手、受付が各1名。それと週1度、後輩が来てくれます。衛生士が6年のキャリアをもちますから、初めは勤務医の経験がない私が、事務関係など教わるぐらいでして(笑)。まだ初めたばかりですので、頭の中には将来の構想はあるのですが、実現は先になりそうです。

Q：どんな構想を…。

A：診療室の左側、ブラッシングコーナーがありますが、こゝに1台機械を入れて、間仕切りをし、予防歯科室を作るとか、マザーズスクールを開いて歯科指導をしたりとか、いろいろ考えてはいるのですが…。

Q：診療室について、設計時何か注意されましたか。

A：えゝ、相手が子供ですので、手の届くところに危ない物は置かないこと。スペースはタツプリとって、余分なものは一切なくすこと。治療中でも、術者が診療室全体を一目で見渡せることなどです。待合室は、テーブルも置いてないんですが…真ん中の広さを充分にとって、子供達が玩具などで勝手に遊べる場所を作る

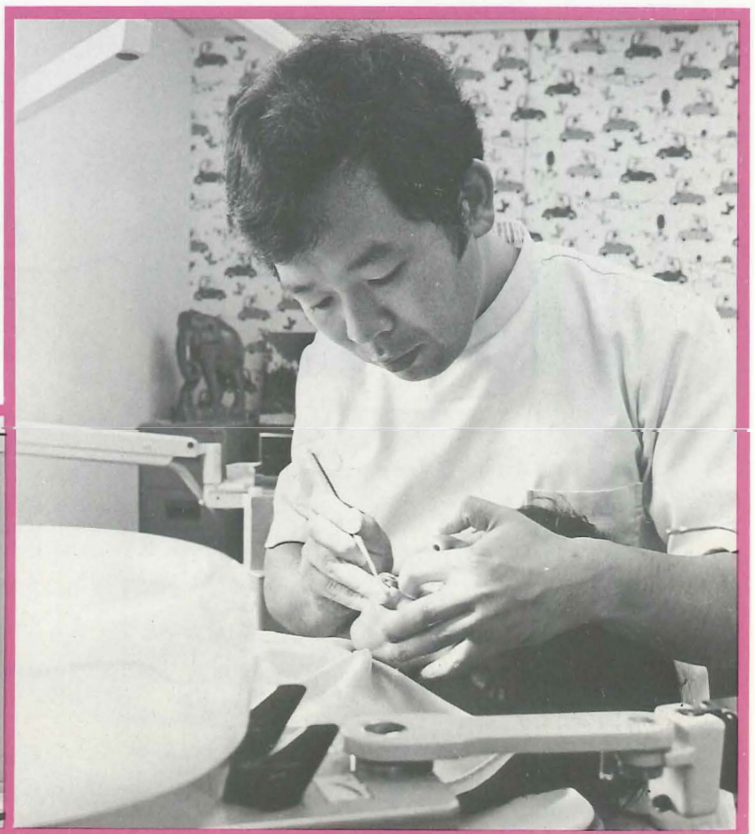
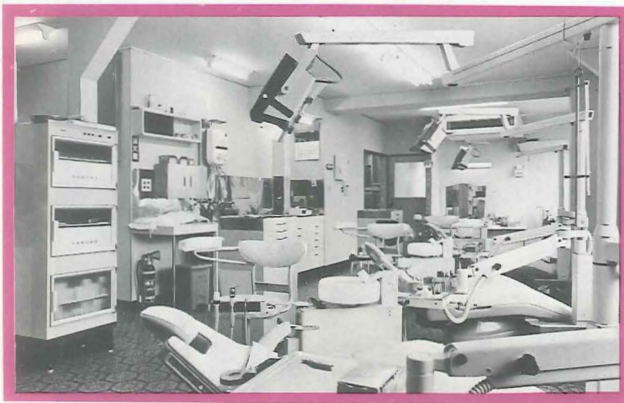
と共に、1人の親が2人子供をつれて来ると計算し、30人が入れるスペースを取りました。こゝは幼稚園の遊戯場みたいな感じにしました。

Q：小児用のスマイリーをお使いですが、いかがですか。

A：スマイリーの特徴、その良さについては以前から知っていましたので、その使い易さを生かして、小児用に変形できたら、と名古屋(営)鎌田所長に相談したところ、基本設計図を作ってくれました。私が昔から考えていた小児歯科についての考え方を、随処にとり入れてくれ、しかもプラスアルファを加えつくり上げてくれました。難しかったところは、身長差のはげしい子供の平均値をどこにおくか、でした。使い易く、文句ありませんヨ。



小児歯科専門に10年といわれるだけあって、児童の心理状態を实によく心得ておられることが、診療室を拝見するとよくわかる。誠実で明朗な人柄と子供の治療にかける情熱が、真新らしくたのしい診療室に満ちていた。



アシスタント紹介

上野歯科医院

東京都新宿区高田馬場
2丁目14-8NTビル2F

白井幸子さん(？才)

上野 隆司院長

東京世田ヶ谷の生まれ。杉野女子短期大学を卒業後、大手繊維会社の受付に勤務。大会社より小さなところで自分を試してみよう、ということで虎の門の歯科医院へ。1年後上野歯科へ転職。3人姉妹の真ん中らしく、はっきりしたしゃべりかたの中に、強い自立心がのぞいている。

◇ ◇

「とくに歯科に入ろうとは思ってはいませんでした。小学生の頃から学校の保険室の雰囲気は好きだったことを覚えています。小さな病院の受付を希望していましたが、丁度なくて、アシスタントになりました。その後1年してこの医院へ。今1年ちょっと過ぎました」歯科に入った理由をたづねると、こんな返事が返って来た。

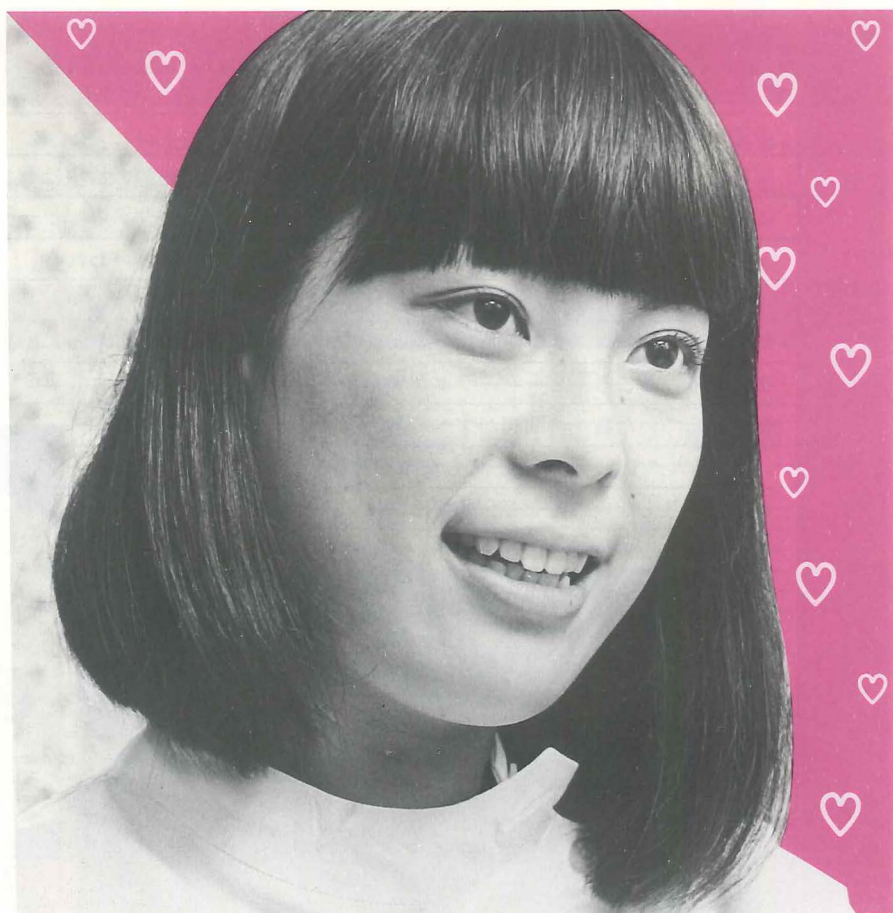
そうすると、年齢は20才+…+1+1？女性に年齢を聞くのは失礼とは知りつゝ、たずねたが、「ごめんなさい。ご想像にまかせます」とついに最後までお聞き出来なかった。ズーム・アップ発刊以来6年目、初めてのことでお許し願いたい。

それでは話題をかえてっ、と「エエ、そうしましょう」とニコリ。

ご本人は、社交性がなく、わがまゝな性格ですといわれるが、何ごともテキパキと片づける現代的な女性と見受けられる。

とかく暗くなりがちな医院の雰囲気、患者さんにとっても、明るいイメージは大いに救いになるであろう。

通算2年のアシスタント経験の感想は？「ハイ、初めは知らないことばかりでしたが、覚えることが受付と違ってたくさんあり、毎日がたのしかったです。一般の会社と比べ、この仕事は大変ですが、その変り給料もいゝと思います」とかな



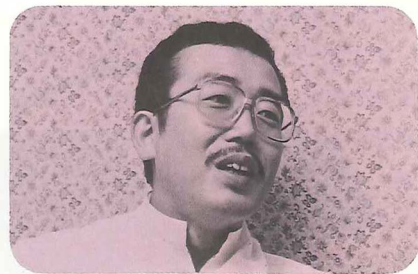
りハッキリしたご返事である。患者さんへの注文は？「当院は1人最低30分の治療時間をみておりますので、時間にルーズな人や平気でキャンセルする患者さんは困りますね。先生も私もその時間があるていまいますから…」アシスタントとして普段気をつけておられることは？「治療台に座った患者さんが、ドキドキしていることがわかりますので、恐怖心を取り除くことを第一に……男性に多いんですよ、女性はその点落ち着いていますね…フフッ。私は歯が悪くなった経験がないので、どんな気持で座っているのか、初めはわからなかったのですが…」と真っ白く、きれいな歯をのぞかせて笑う。先生から何か注意されますか？「今までおこられたことは全くありません。気を使ってくれて、やさしい先生ですよ」まさにソツのない優等生である。

来月、先の医院で知り合った技工士さんと結婚される。「結婚してもこの仕事は続けるつもりです。毎週土、日が休みですし、朝も10時からですので、仕事に支障をきたすことはないと思います。この

職業は私に合ってるみたいな気がしますから…」

休日は車が好きでよくドライブに出かけるとのこと。運転歴は4年。「でも近頃は、結婚の準備や打合せで、ほとんどのお休みはつぶれてしまいます」

ニコリ笑った顔がきれいな歯とマッチして印象に残った。



〔上野院長の採点〕


私のところは、人数が少ないので休まれたり遅刻されたりすると困りますが、彼女は熱心によくやってくれますね。歯科医院は性質上医師の思い通りに介補者が動いてくれないと支障をきたしますので、自分のペースに合わせたくれるアシスタントが最も良いのでは…。素人に初めから教えるのも大変だし、せっかく覚えた頃結婚してやめていってしまう。彼女は結婚後もやる気充分で……家庭と勤めを立派に両立させてやっていくと思いますよ。

学卒後、函館で勤務医をしておりましたが、この町に歯科医がいなからと懇望されて開業。25年近く過ぎました。現在、近郊を含め人口18,000人に対し、開業医はたった2人。当院のスタッフは私と技工士2人、受付・助手4人の計7名で、1日110人から多いときは140人位の治療を担当しなければなりません。予約診療どころか、当院で断ったら患者はいくところがない、という有様なのです。粘膜を煩った時も、40度近い熱でうなされた時も、待合室にあふれる患者を見ると、とても休んではおられなかった状態です。息子と娘がおりますが、私の日々をみかねて、歯科医になるべく歯学部に入ってくれました。そのほか週2度、夜間のみ吉岡鉄道公園の診療所に出かけますが、体力がどこまで続くか……。収入にしても、この辺は産業もなく、ほとんどの家は出稼ぎでして……。「歯科標準料金表」通りにはとても取れませんよ。最近、医術は算術などと世間で騒がれましたが、私には別世界の話の様ですね。

◇ ◇
以前はオサダのジュニアを使って、立位で治療していましたが、ものすごい患者数に立ってはいられなくなり、昨年〈ユニオート〉に切りかえました。足下は非常に楽で、タービンの切れも良く気に入っていますが、こんどは、座位ですと足が萎える感じがしましてネ…何しろ体力が勝負の毎日ですから(笑)。
アフターサービスは、札幌営業所と代行店さんが、連絡をとりあいながら良くやってくれてまして…故障については、十何年来、全く心配したことがありません。

タービンの切れも良く、足下も楽なユニオート。故障については、十何年来、全く心配したことがありません。

山内歯科医院
山内 五三郎先生
北海道松前郡福島町宇福島2-7-1
日本大学歯学部卒(47才)



当家は、父も2人の兄も歯科医ですので、職業環境には恵まれている方でしょうね。大学も全員同じ、日大歯学部。勤務医時代の経験も同一医院でした。

現在は、週2日母校で講師を、後の4日を診療にあたっておりますので忙がしい毎日です。1日約20名ほどで、患者さんはかなり遠方からも来ます。できれば人数を半分ほどにしたいと思いつつも……現実には難しいですね。

〈オサダ〉さんとのつき合いは、兄がこの場所です。もう古いのですよ。今年買換え時、五反田のショールームに行くと、これが最新の座位専用ユニット〈ジュニー〉だ、ということ……。

外観もスッキリしているし、キャスターがついた本体が患者の態位によって自由に移動出来、インスツルメントの出し入れも患部を見つめたまま、自然にできます。無影灯を右側につけた事により、ボタン一つで患者の口腔位置が決定できる。"右前システム"にしたことにより、座ったまま、ですべて処理でき良かったですよ。アフターもいいですね。もっとも、これはオサダの本社に近いかナ？技術力では昔から定評があったオサダの座位専用ユニット〈ジュニー〉。使用感は抜群ですね。

スッキリしたデザイン。インスツルメント操作も楽な座位専用ユニット〈ジュニー〉。オサダの技術力には感心しています。

山井歯科医院
山井 孝先生
東京都品川区大井1-17-5
日本大学歯学部卒・歯学博士(36才)